

成績評価基準

大学院音楽研究科 博士前期課程（修士課程）

●単位修得の3つの条件

- 1) 授業を登録…シラバスを参考にして履修する授業科目を確定し、所定の期日までに「履修登録」をする。
- 2) 授業に出席…実施された授業科目の3分の2以上に出席する。
- 3) 試験の合格…各授業科目で所定の試験に合格する。

●成績評価およびGPA (Grade Point Average) 制度

- 1) 授業科目の成績評価（合格－S・A・B・C、不合格－D）は、実技試験においては、実技試験審査員が評価し、筆記試験においては、授業科目の担当教員が評価する。また、成績評価の客観的指標としてGPAを導入しており、成績評価およびGPAは、武蔵野音楽大学ユニバーサルパスポートにより学生に通知し、フィードバックしている。
- 2) ただし、履修登録をした授業科目は、実施された授業回数の3分の2以上に出席し、所定の試験に合格した場合、単位修得が認められる。したがって、所定の試験に合格した場合であっても、授業回数の3分の2以上の出席に満たなかった場合、単位修得は認められず、その表示は「失」（出席回数基準の未充足）となり、単位未修得となる。

クラス授業科目 点数区分	実技科目 点数区分	ヴァルトオーヴコース (学位審査演奏) 実技科目点数区分	評価の 表示方法	基準	合否・ 失格	G P
90～100 点	80～100 点	80～100 点	S	到達目標を十分に達成し、優秀である	合格	4.0
75～ 90 点未満	65～ 80 点未満	65～ 80 点未満	A	到達目標を十分に達成している		3.0
60～ 75 点未満	50～ 65 点未満	50～ 65 点未満	B	到達目標を達成している		2.0
50～ 60 点未満	40～ 50 点未満	40～ 50 点未満	C	到達目標をほぼ達成している		1.0
0～ 50 点未満	0～ 40 点未満	0～ 40 点未満	D	到達目標を達成していない	不合格	0
—— (出席回数基準の未充足)	—— (出席回数基準の未充足)	—— (出席回数基準の未充足)	失	—— (出席回数基準の未充足)	失格	0

●GPAの算出方法

修了要件となる科目（必修・選択科目）を対象とし、履修登録をした科目における1単位あたりのGPAを次のとおり算出し、奨学生・諸代表の選抜に利用している。

- (1) 履修した科目毎の成績を点数化して読み替える。 S (4.0)、A (3.0)、B (2.0)、C (1.0) D (0)、失 (0)
- (2) 履修した科目の単位数と点数化した成績をかけ算して、履修した科目毎のGP（グレードポイント）を求める。

次の計算式でGPAを算出する。

$$GPA = \frac{(\text{「S」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1 + \text{「D」の単位数} \times 0 + \text{「失」の単位数} \times 0)}{\text{単位数の合計}}$$

【例】

授業科目名	(単位数)	成績 (点数化)	(単位数) × (成績) = GP
作品研究	(2)	B (2.0)	2 × 2.0 = 4.0
修士論文基礎	(4)	S (4.0)	4 × 4.0 = 16.0
指揮法	(4)	A (3.0)	4 × 3.0 = 12.0
音楽理論演習	(2)	A (3.0)	2 × 3.0 = 6.0
楽書講読	(4)	C (1.0)	4 × 1.0 = 4.0
①単位数の合計	16		②グレードポイントの合計 42.0
GPA		② 42.0 ÷ ① 16	= 2.62

上表のいずれかの科目の単位が修得できなかった場合、GP（グレードポイント）が「0」となり、GPAの数値が大幅に下がることになるため、履修登録した授業科目については確実に単位修得することが重要である。